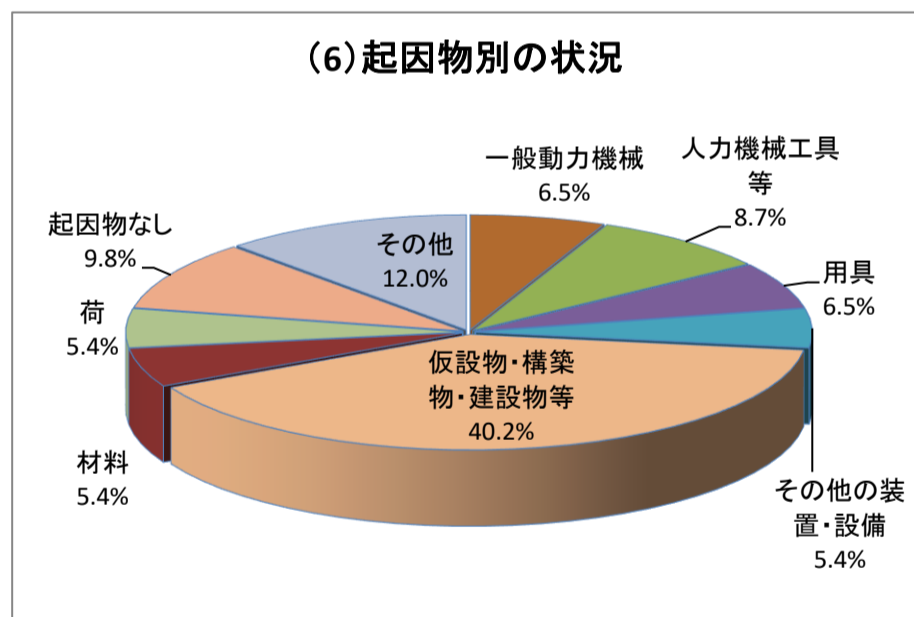
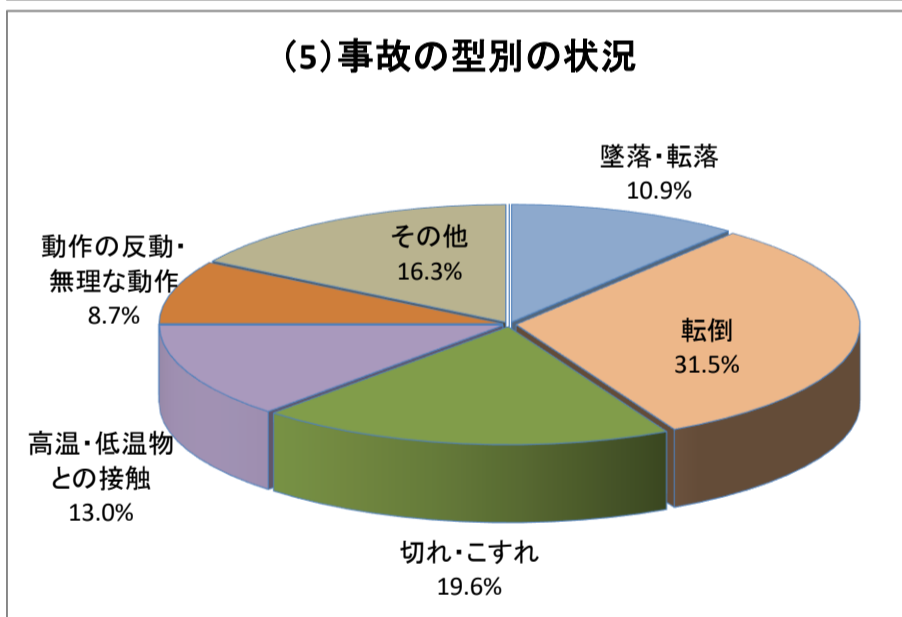
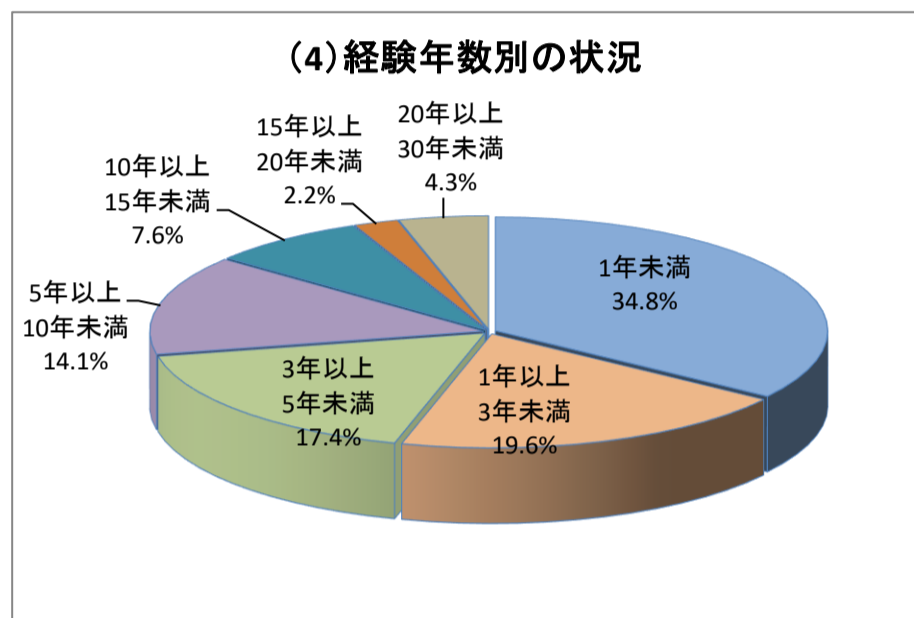
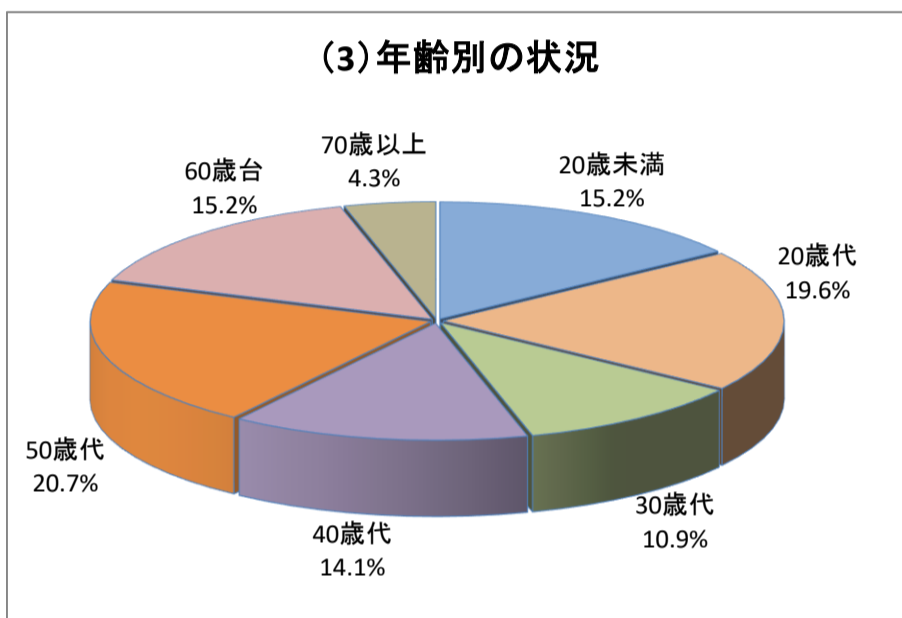
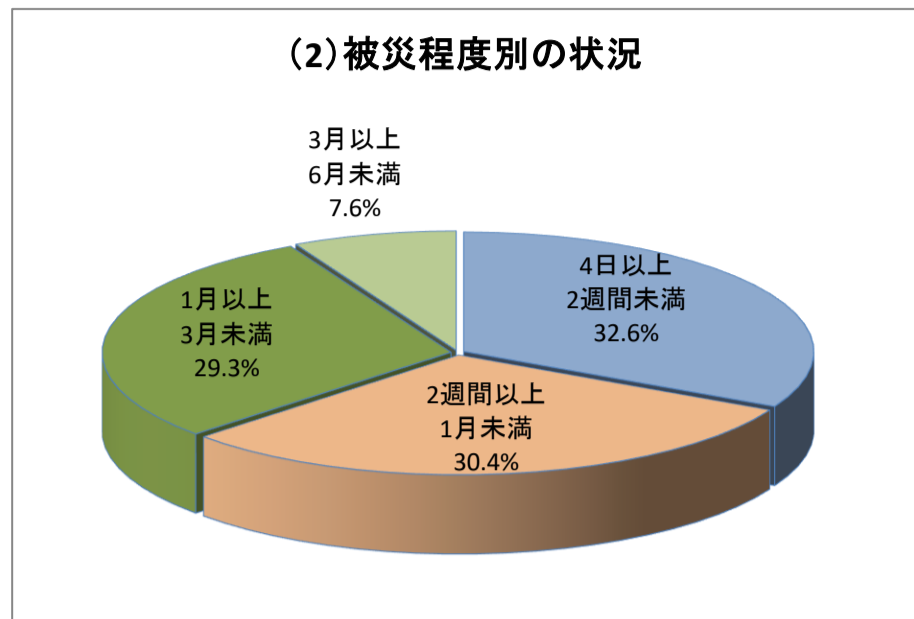
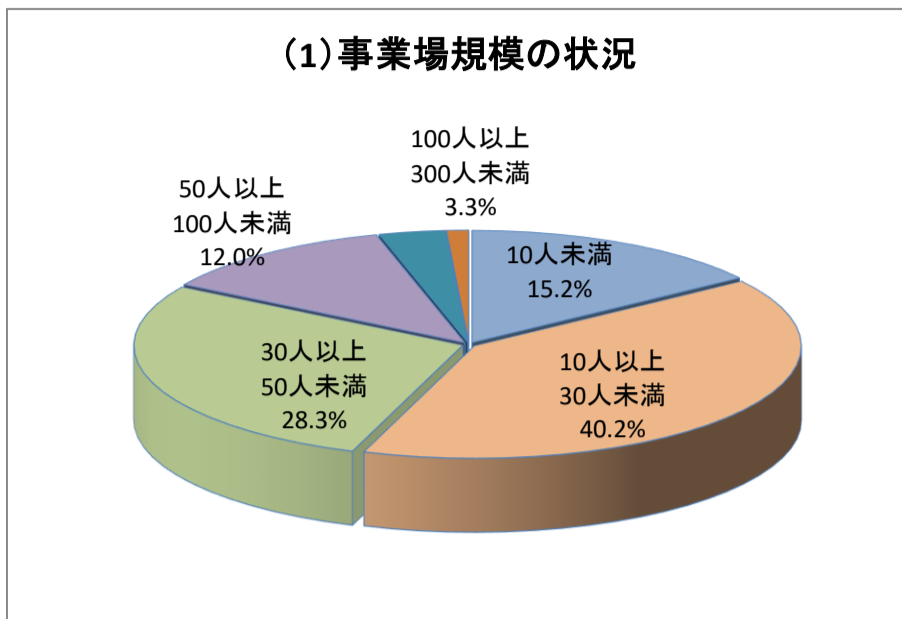


17-4.飲食店における労働災害発生状況(令和元年)

(飲食店：92人)



1. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」が40.2%と最も多く、次いで「30人以上50人未満」が28.3%、「10人未満」15.2%の順となっている。50人未満の事業場が83.7%を占めている。
2. 被災程度別では、休業日数「4日以上2週間未満」が32.6%と最も多く、次いで「2週間以上1月未満」が30.4%、「1月以上3月未満」29.3%の順となっている。
3. 年齢別では、「50歳代」が20.7%と最も多く、次いで「20歳代」が19.6%、「60歳代」、「20歳未満」がそれぞれ15.2%の順となっている。60歳以上は19.5%となっている。
4. 経験年数別では、「1年未満」が34.8%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が19.6%、「3年以上5年未満」17.4%の順となっている。3年未満が54.4%となっている。
5. 事故の型別では、「転倒」が31.5%と最も多く、次いで「切れ・こすれ」が19.6%、「高温・低温の物との接触」13.0%の順となっている。
6. 起因物別では、「仮設物・構築物・建設物等」が40.2%と最も多く、次いで「起因物なし」が9.8%、「人力機械工具等」8.7%の順になっている。